

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	道路照明灯 L E D 更新事業				事業番号	019-021	
担当部署名	建設局	局	土木部	部	土木監理課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(3)ゼロカーボンシティの推進	
			有	取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築				
		寄与するKPI	有・無	指標名	市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）				
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025		有	現状値	14.1%(2017年度)		目標値	19.0%(2025年度)	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑬気候変動に具体的な対策を		ターゲット	13.3	
			有	取組	省エネルギーの徹底やヒートアイランド対策の推進				
	寄与するKPI	有・無	指標名	市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）					
		有	現状値	19.1%(2020年度)		目標値	19.0%(2025年)		
2	関連計画			堺市地球温暖化対策実行計画					
3	事業開始年度			平成 29 年度		点検対象年度（個別計画）		令和 8 年度	
4	実施根拠			道路法、堺市環境基本条例					

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁、出先機関（各地域整備事務所）						
6	事業の対象		リース方式で導入可能な道路照明灯					対象数	単位
								15,400	灯
7	事業の目的		道路照明灯のLED化を推進することで、将来にわたり要するトータルコストの縮減、及びCO2の排出量削減による低炭素化・省エネルギー化を推進する。						
8	事業内容		・H28年度以前 市内の道路照明灯約900灯について買取方式でLED化を導入済み ・H29年度～R2年度 国府道の道路照明灯約6,100灯についてリース方式でLED化（内訳） ・H29年度 北部地域整備事務所管内幹線道路の道路照明灯1,785灯 ・H30年度 南部地域整備事務所管内幹線道路の道路照明灯1,482灯 ・R1年度 西部地域整備事務所管内幹線道路の道路照明灯1,481灯 ・R2年度 西部地域整備事務所管内幹線道路の道路照明灯1,371灯 ・R3年度～R5年度 市道の道路照明灯約9,800灯についてリース方式でLED化（内訳） ・R3年度 東及び美原区内市道の道路照明灯722灯 ・R4年度～R5年度 その他の区内市道の道路照明灯9,048灯						
	※国・府の基準より上回って実施した内容		—						
9	主な支出先		保守付物品賃貸借契約先（長期継続契約）						
10	公民連携・協働事業		—						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
	LED化によるCO2排出削減量	t	目標値	800	800	800	800
			実績値	823	823		
			達成率	103%	103%		
当該指標を選定した理由	市域の温室効果ガス排出削減に寄与するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	当該事業の完了により達成されるCO2排出削減量の総量を目標値とした。						

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	道路照明灯のLED化実施灯数 (国府道及び市道)	灯	目標値	15,400	15,400	15,400	
			実績値	15,889	15,889		
			達成率	103%	103%		
当該指標を選定した理由	リース方式で導入可能な道路照明灯について、順次LED化を実施することで成果目標を着実に達成するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	市域においてリース方式で導入可能な道路照明灯の総数を目標値とした。						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		道路照明灯LED更新事業				事業番号		019-021			
Ⅲ. 投入量											
事業コスト											
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）											
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算	決算	当初予算		
		事業費（a）	84,452		149,212		148,934		148,934	148,934	
		国支出金	0		0		0		0	0	
		府支出金	0		0		0		0	0	
		市債	0		0		0		0	0	
		その他（ ）	0		0		0		0	0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0	0	
		一般財源	84,452		149,212		148,934		148,934	148,934	
		14	人件費（b）	15,552		27,540		26,040		26,040	21,750
15	年間経費（c）=(a)+(b)	100,004		176,752		174,974		174,974	170,684		
事業費の内訳											
（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		道路照明灯LED（リース）賃貸借契約	R7	決算	148,934	148,934		R7	決算		
			R8	予算	148,934	148,934		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
R8	予算				R8	予算					
Ⅳ. 事業の効率性											
単位当たり経費											
17	区 分	単位			令和6年度		令和7年度				
	①	リース方式でLED化した道路照明灯の累計灯数			灯	15,889		15,889			
	②	上記①にかかる年間経費			千円	149,212		148,934			
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	9,391		9,373			
	算出についての説明等		年間経費は賃貸借契約における各年度の支出額を計上								
Ⅴ. 評価											
費用対効果に係る所見											
18	・平成29年度から令和2年度で国府道のLED化を完了し、令和3年度は東及び美原区内市道のLED化を完了した。 ・令和4年度からは、堺区・中区・西区・南区・北区内市道のLED化を契約し、令和5年度にLED化を完了した。 ・これにより、本市域内のリース方式で導入可能な道路照明灯のLED化を完了した。 ・リース方式による導入費が想定より抑えられたことが要因となり、トータルコストの縮減効果は当初の見込みを上回った。 （H29年度からR9年度の10年間で想定される効果額は約3.7億円）										
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）										
19	・平成29年度から令和5年度に市内の道路照明灯約15,900灯についてLED化を実施し、CO2排出量約823t（2016年度比）を縮減することにより、KPIである市域の温室効果ガス排出削減に寄与した。										
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）										
20	必要性	■ 高い □ 低い	・リース方式でLED化を実施することにより、費用の縮減及び温室効果ガスの削減に寄与した。								
	有効性	■ 高い □ 低い									